

# 平成25年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成25年2月20日

議 案

55件

〔 予算(23)、条例(23)、財産の処分(1)、  
事件議決(7)、基本的な計画の策定(1) 〕

## 【主な内容】

- 埼玉県立武道館条例等の一部を改正する条例
- 埼玉県立精神保健福祉センター条例の一部を改正する条例
- 埼玉県新型インフルエンザ等対策本部条例

など

# 平成25年度 当初予算



一般会計 **1兆6,757億1,500万円**

《前年度比 **0.1%減**》

(全会計合計 **2兆4,553億3,712万5千円**)

《前年度比 **2.4%増**》

## 同時提案

国の緊急経済対策に伴う補正(平成24年度2月補正)

一般会計 **309億6,272万4千円**

(公共事業等の追加 224億1,098万7千円  
基金の積み増し 84億6,243万6千円 など)

平成25年度と併せ  
**13ヶ月予算**  
として執行

特別会計・企業会計 **50億2,491万9千円**

# 平成25年度当初予算の重点政策



## 最優先課題である「経済の再生」へ対応

### 通商産業政策の 地方分権化

通商産業政策に地方も  
積極的・主体的に取り組み、  
地方が競い合う

産業を興す

人材を活かす

三大プロジェクトを中心に  
5か年計画における  
12の戦略の具現化

エコタウン

ウーマノ  
ミクス

健康長寿

### 国の緊急経済対策を 活用した13ヶ月予算

公共事業などを切れ目なく実施

13ヶ月予算で  
公共事業

前年度比**2割増**

## 安心・成長・自立自尊の埼玉の実現

# 県内中小企業の躍進



一部  
新規

## ◆中小企業の 新分野への挑戦

2億100万円

### ■ 次世代産業分野への参入

新

#### 産学連携による先端研究開発

産・学・官連携による先端研究開発拠点の構築及び実用化等に向けた研究開発の推進

新

#### 先導的プロジェクトの実施

さいたま市との連携による医療機器分野の研究開発プロジェクトを推進

#### ➤ 中小企業の研究開発費の補助

新製品・新技術開発に要する研究開発費の一部補助（限度額1,000万円）

#### ➤ 次世代人材の育成

県内工科系大学との連携による「次世代産業カレッジ」の開催

中小企業の新たな産業分野への参入促進

一部  
新規

## ◆中小企業の国際化

1億6,600万円

### 中国・ASEAN諸国等への進出

新

経済訪問団の派遣（中国・タイ・ベトナム）

新

現地日系企業とのネットワーク強化  
（タイ・ベトナム）

➤ 上海ビジネスサポートセンターの運営

➤ アセアンビジネスサポートデスク等の運営  
ベトナム政府職員による県内企業への支援体制の整備

### 成長産業分野の販路開拓

新

海外展示会への出展を戦略的に支援

世界で医療機器、次世代自動車、自動化技術、ブランド食品等優れた製品の販路を開拓



# 国の緊急経済対策を活用した13ヶ月予算

## ◆ 国の緊急経済対策に 対応した補正予算

〔公共事業などを切れ目なく実施〕

**総額360億円**

- 公共事業(道路、河川等) 約195億円
- 県立学校の老朽化対策など  
その他の投資的経費 約80億円
- 緊急雇用創出基金など  
7基金への積立 約85億円

【公共事業一覧】

単位:億円

区分	24年度	25年度 (13ヵ月予算)			増減	伸率
		当初	補正 予算	計		
道路	503	499	131	630	126	25.1%
河川	257	267	43	310	53	20.4%
他	79	73	21	94	16	20.1%
合計	<b>839</b>	839	195	<b>1,034</b>	195	<b>23.2%</b>

13ヶ月予算で公共事業2割増

完成が早まるなど投資効果の高い箇所や  
耐震補強などに集中投資

(例1)橋りょうの架け替え(2車線→4車線)

国道122号 昭和橋(羽生市)  
完成:26年度末→26年度上半期



完成6ヵ月  
前倒し

(例2)橋りょうの耐震補強

第1新河岸橋(富士見市)  
完成:26年度末→25年度末

完成1年  
前倒し

施工イメージ



施工前



施工後

橋脚を太くし、地震による損傷を防ぐ対策等を実施

# 埼玉エコタウンプロジェクト



## 拡充 ◆エコタウンプロジェクトの推進（本庄市・東松山市） 7億3,600万円

### ● 既存住宅のスマートハウス化を中心に街区単位で集中展開

#### 東松山市



#### 新 重点実施街区スマートハウス化プロジェクト

- 880戸の既存住宅に集中投資、スマートハウス街区化
- 太陽光発電設備の重点補助、屋根借り実証
  - 企業提案による創エネ・省エネ・蓄エネ推進
- 3億3,800万円

#### 新 地域EMS構築

- 地域EMS構築に向けた公共施設への太陽光発電、蓄電池の整備
- 4,100万円

#### 新 商店街まるごと省エネ

6,700万円

#### 本庄市



#### 新 避難所エコ化モデル

- 太陽光発電、EVからの電力供給システム整備
  - 自立可能な避難所モデルに
- 1,200万円

#### 新 太陽熱利用の冷暖房・給湯先進モデル

3,100万円

# 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト



## 新規 女性の創業支援

800万円

・「COCO (女性起業支援ルーム)」の設置



女性起業家のための新しいビジネス拠点 (シェアスペース + 個別相談)

・商店街の空き店舗を利用したインキュベーションショップ運営の支援

## 新規 実習・体験型の再就職支援

4,300万円

・介護や保育等の有資格者向け職場実習など(4日間)

・主婦向け職場体験など(2日間)



## 新規 働き続ける女性を支援

300万円

～女性の能力や経験を生かした就労継続支援～

- ・仕事と子育ての両立トレーニング
- ・マネジメント層や男性の意識改革
- ・大学生に「ライフデザイン」や「多様な働き方」に関する意識を醸成

## 新規 「SAITAMA Smile Women フェスタ」の開催 1,000万円

- ・女性向け商品やサービスを集めたフェスタの開催
- ・会場:さいたまスーパーアリーナ
- ・日時:9/14～15

## 新規 ウーマノミクスサイトの開設 100万円

- ・県民向け・企業向け 総合サイトの制作

◆就業環境の整備

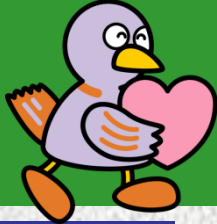
◆女性の就業支援

◆消費及び女性の活躍の場の拡大

- 保育サービス受入枠の拡大 4,000人
  - ・認可保育所の整備
  - ・企業内保育所の設置促進 など

- 女性キャリアセンターでの就業支援

- 女性経営者などへの資金の融資 (融資枠100億円) ほか



# 健康長寿埼玉プロジェクト

## 県民の健康づくりムーブメントの更なる展開

### 拡充 ◆モデル都市の拡大 6,000万円

モデル都市を7市に拡大し、県内全域へ普及

#### 【運動】 2,000万円

- 東松山市： 毎日1万歩運動
- 新 加須市： 筋力アップトレーニング

#### 【食】 2,000万円

- 坂戸市： 野菜もりもり促進事業
- 新 和光市： 食による健康づくり事業

#### 【団地】 2,000万円

- 朝霞市： 団地まるごと生き生き事業
- 新 春日部市： 官学連携健康団地づくり事業
- 新 久喜市： 団地介護予防事業

### 一部新規 ◆県民ムーブメントの拡大 3,000万円

#### 新 健康長寿サポーター制度を創設し、草の根レベルで生活習慣を改善

- 地域で健康づくりを促進する健康長寿サポーターの養成  
サポーターを養成する市町村に対する助成  
(補助上限：30万円)  
年15,000人を養成

正しい健康情報を分かりやすく提供し、普及啓発

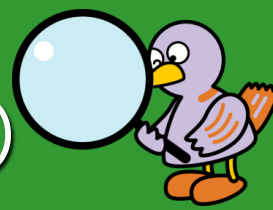
- けんこう大使による健診受診キャンペーン
- ジョギングコースにカロリー消費表示
- コバトン健康メニューの普及

毎日が健康・生き生きと暮らせる

医療費の抑制



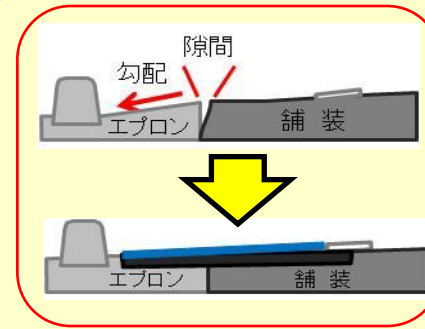
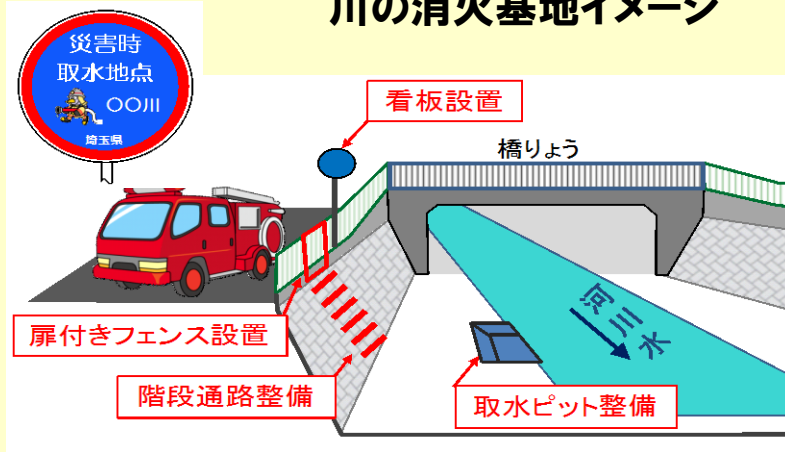
# アイデアを生かして安全対策をスピードアップ ①



## 新規 ◆川の消火基地の整備 8,000万円

## 新規 ◆自転車すいすい55プラン の推進 2億9,100万円

### 川の消火基地イメージ



### 【整備手法】

- ①車道左側路肩の平坦化
- ②青色ペイントで自転車通行位置を明示



平成27年度までの3年間で55箇所 35kmを整備！



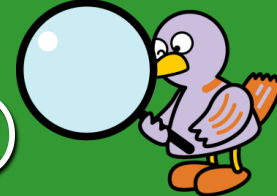
階段通路整備

平成27年度までの3年間で、  
県南部14河川で  
100箇所を整備！

緊急時の消火用水の確保  
(県南部の市街地の75%をカバー)

自転車の安全対策のスピードアップ  
(既存道路を活用した自転車レーンの整備)

# アイデアを生かして安全対策をスピードアップ ②

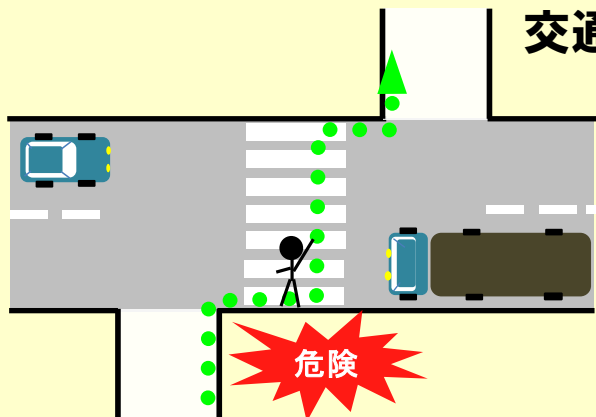


**新規**

## ◆通学路のたまり空間の整備

1億8,000万円

交通事故の約6割は、交差点付近で発生



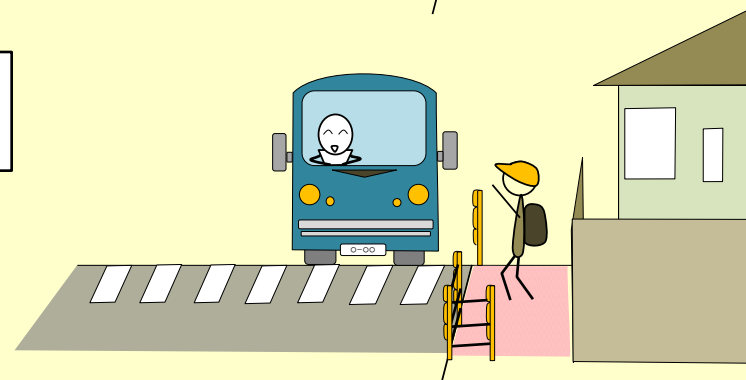
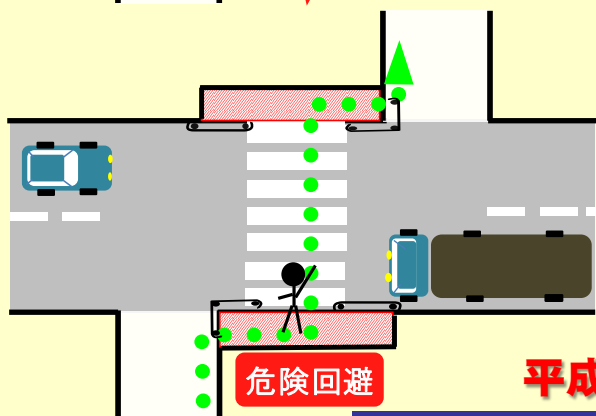
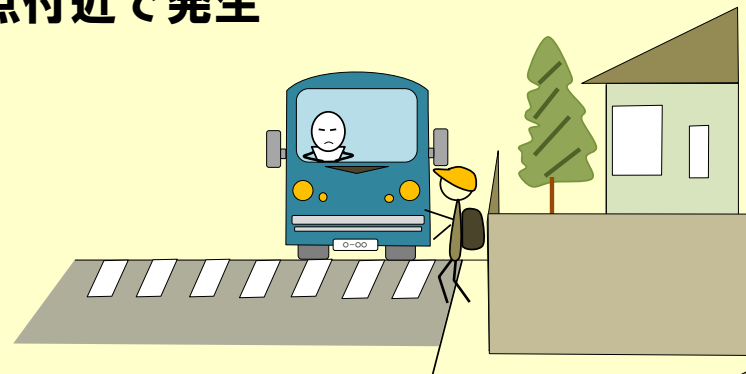
連続した歩道整備は  
大変時間がかかる



通学児童が“たまる箇所”  
をスポット整備

【整備手法】

- ①用地のスポット買収
- ②たまり空間の工事
- ③防護柵設置・路面標示



平成27年度までの3年間で25箇所を整備！

通学路の安全対策のスピードアップ  
(交差点部のたまり空間の整備)



# いじめ問題への取組

**拡充** ◆学校における  
教育相談体制の強化  
3億9,900万円

**拡充** ◆学校の正常化に  
向けた体制の強化  
4,100万円

## スクールカウンセラーの増員

(臨床心理士:生徒、保護者へのカウンセリング)

8,630日/年 ⇒ **10,530日/年**

全ての中学校に  
2週に1回以上の配置  
(H24:3週に1回以上)

## スクールソーシャルワーカーの増員

(社会福祉士等:学校、家庭での問題などを調整)

配置市町村の拡大  
H24:29市町→H25:40市町

**効果** 教員との連携による早期対応

## いじめメール相談の充実

児童・生徒がメール相談しやすく!

新

いじめ相談  
フォーム

簡単アクセス



## スクール・サポーターの緊急増員

(元警察官・教員経験者:生徒、保護者への指導・助言、教員へのアドバイス)

非行が深刻化した中学校からの  
要請に基づき派遣

**28人** ▶ **40人**  
(+12人)



### 主な活動内容

- ・生徒間暴力や器物破損事案などへの対応
- ・校内パトロールによる授業妨害やエスケープ防止・指導

**派遣  
効果**

いじめの早期発見・対応  
生徒の規範意識の改善